

〈アケビの花〉

畑のフェンスに絡めてあるアケビの花が咲き始めた。赤紫色とでもいうのだろうか、派手さはないがなかなか味のある花だ。花卉のように見えるところは実は“ガク片”ということで、花卉はない。雌花と雄花があり、写真の左が雌花、めしべの数だけ実が生るそう。雄花の方は6本のおしべが円陣を組むように集まっています、何かの作戦会議でも開いているようで楽しい。去年はたくさんの実をつけたので知り合いに分けてあげたら、珍しがられた。かつては近くの山にいっぱいあったが、近ごろはなかなか見つからない。山に行くと葉っぱはいっぱい見られるのだが……。アケビの新芽は野草としても人気があり、以前天ぷらにして食べたことがある。おひたしにしても美味しいということなので、ぜひ試してみようと思う。



こちらは紫色の実が生るミツバアケビ。左が雌花で右が雄花。きれいな紫色の実はなかなか生らないが、中身は間違いなくアケビだ。この花が実になるまでの約6ヶ月、アケビは子孫を残すべく日々果実を太らせていく。“あくび”などしている暇はないのだ。少しは見習わなくては……。

